

最近体をよくぶつける

トミーです。いつものカフェで、友人を待っています。隼人^{はやと}というんですが、建具職人の見習いをしています。会うのは中2のときに隣町に越していつて以来かな？ アナはマリーさんとしばらくおしゃべりしていて、宿題があゝと行ってましたが、やつと帰るようです。

アナ「じゃあ、マリー先輩。おにいちやん、遅くならないように!! キャッ!!」
ちょうど隼人がやってきて、アナとすれ違ったときでした。肩が当たってアナがよろけて…

隼人「あ、ごめんなさい! ああ、アナちゃん? だいじょうぶだったかい?」
アナ「あ、え、えと…隼人さん? ええ、だいじょうぶ。わたし、宿題をやらなきゃなので、また…」

久しぶりでですけど、隼人はなんか雰囲気が変わって、見違えそうです。仕事のせいなのか、ずいぶんがつしりした感じで、背も少し伸びて、アナもどぎまぎしてたな… しかも、おでこにおおきめの絆創膏が…

隼人「トミー!! おお、だいぶシュっとしたじゃないか! 大学はどうだ?」

トミー「久しぶり!! まあぼちぼちつてとただけど、それは？」

隼人「これか？ 棚にぶつかって材木が崩れてきてな。貴重な材木でさ、親方にさんざ怒られたぜ！」

トミー「それにしてもゴツくなっただな。建具職人ってのは、力仕事が多いのか？」

隼人「材ざいを運んだりはあるけどな。でもまあ、うちは江戸組子えどぐみこだから、作業場で細かい加工ばかりさ」

やけに顔や手が骨張ほねばつてます。中学のころはまだ子供っぽかったと思うんですが。

隼人「親方には、みかけ倒して腕は半端もんだってな！ 最近そそどうも粗相そそうつかしくて、あちこちぶつかっちゃ、物をこわしてな、親方に叱られてばかりさ」

トミー「スマホで自撮りとかしないか？」

隼人「おう！ 細工がうまいこといくと、品物といっしょに自撮りしてるな。親方には浮かれてんじゃねえと叱られるが、上手くできりゃうれしいじゃないか。記録ってやつさ！ こうして…ほら、どうだ？」

すっかり職人っぽい物言いに気圧されそうですが、隼人のスマホには組子といっしょに写る自撮りがならんでいました。

隼人「どうよ？ こうしてみりゃ腕が上がってるってもんだらう？ 最初はこんな木っ端を削って喜んでたのが、今じゃだいぶ組子っぽくないか？ どうも昔の職人はほめるってことができなくて困るぜ」

見習いを始めたのは高校からのはずですが、やはり…

紬つむぎさんの一件で内分泌のことをまとめたせいかな、気になります。生理学実習で習った診察法ですが、思い出してやってみましょう。

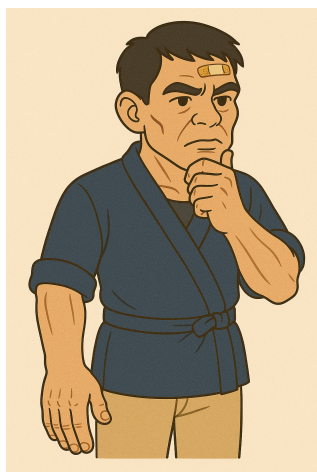
隼人「診察の練習？ お、いいじゃないか！ トミー先生にやいずれお世話になるって

もんだからな！」

隼人を向かい合わせに座らせ、手で片眼を隠してもらって、私の眉間みけんを見つめてもらいます。隼人と私のちょうど中間点に私の指を立てます。

トミー「指を動かすけど、眼は動かさないようにね。指が見えなくなったら、いつてくれ」

こうすると、自分と比較して相手の視野



の範囲を推定できます：

やはり、指を耳側^{じそく}に動かしたときに、私よりだいぶ先に見えなくなるようです。鼻側^{びそく}は私と同じくらいでした。反対の眼に代えても同じでした。視野の耳側が、両眼とも狭くなった状態です。体をぶつけやすいというのは、このせいでしょう。

隼人「おい、どうした、名医さん？ なんでもいってみな」

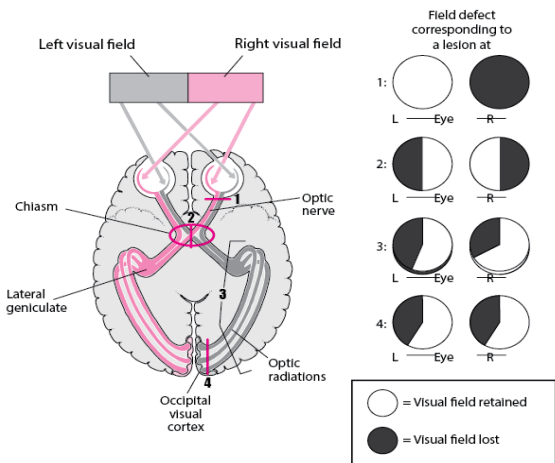
トミー「ああ、たぶんいちど、病院でよく診てもらった方がいいとおもうよ。ちゃんと検査しないとけないし、僕も習ったばかりだけだね。説明するよ」

眼からくる視神経は、この図のようにX字型になっていて、視交叉^{しこうさ}っていう。眼の外半分からの神経はこのまま脳に行くんだけど、内半分からの神経は反対側の脳に行く。

隼人「おいおい！ 組み子も大概ややこしいが、眼の神経つてのも、ややこしいことになってるんだな」

トミー「うーん、これでうまく立体的にみえるらしいよ。この神経が眼で見えたものを半分ずつ、脳に伝えるわけ。それを脳がうまく処理してるんだ。レンズのしくみは覚えてるかい？」

隼人「中学校でカメラを作ったな。ショウと同じ班じゃなかったか？ 景色が反対に映って面白かった。太陽で教科書の偉いさんの写真を焦がしたりしてな。でも、おれの眼



視覚路の病変部位と視野欠損

視覚路の病変部位により視野欠損の領域が異なる。

<https://www.msmanuals.com/professional/multimedia/image/higher-visual-pathwayslesion-sites-and-corresponding-visual-field-defects>

とどういふ関係になるんだ？」

視交叉に挟まるようにしてあるのが、下垂体かすいたいなんだ。これがもし腫れて大きくなると、視神経を内がわから押してしまう。そのせいで見づらくなるわけだけど、網膜もうまくでいえば内がわ、視野でいえば外がわの方になる。両目ともね。隼人が体を最近ぶつけやすいというのは、わきの方が見づらくなってるからかもしれない。

隼人「自分じゃ気づかなかったな…」

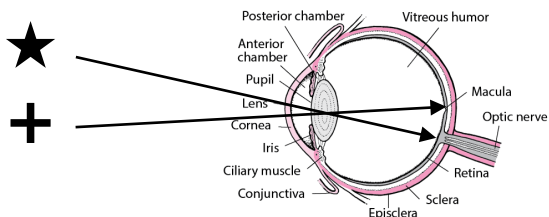
視野の中心に当たる網膜の部分を黄斑おうはんといって、ここが一番よく見える。もしここに病変が起こるとすぐに視力に影響する。でも、そのまわりの視野が部分的に見づらくなっても、すぐには気づきにくい。脳の方で、見えない部分を補うからなんだ。たとえば、盲点。眼から視神経が出る部分を視神経乳頭にゅうとうといって、網膜がなくて見えてないんだけど、普段気にすることはない。

隼人「ああ盲点か、子どものころに図鑑でみたな。たしかトミーの部屋だった」

トミー「さっきいった下垂体だけど、いろいろなホルモンを出してる。からだの調整をしている重要な部分なんだ」

隼人「ホルモン？」

トミー「ああ、食べる方のホルモンじゃないよ」



盲点を確認する：図形の中心に向き合う。右眼を手で覆い、左眼で十字を見つめる。図形が中心からずれないよう注意しながら、顔を図形に近づけたり遠ざけたりする。ある位置で★が消える。

<https://www.msdmanuals.com/home/eye-disorders/biology-of-the-eyes/structure-and-function-of-the-eyes>

からだの調整をしている物質をホルモンというんだ。下垂体のだすホルモンの中に、成長ホルモンがある。こどもなら体を大きくするのに役立っているけど、大人になつてから成長ホルモンが過剰になると、子供のような働きとは変わってくる。先端巨大症というんだ。簡単にいうと、顔や手足の先の方が不釣り合いに大きく太くなる。見た目にゴツくなるんだ。さつき自撮りをみせてもらつて、急に顔つきが変わつていたのを確認できた。

隼人「…」

…隼人を怖がらせてしまいました。

その後すぐに隼人は病院で調べてもらいました。職場の検診で血圧が高めなのは、ここ何年か指摘されていたそうです。成長ホルモンの過剰のせいでしょう。血液検査では、成長ホルモンが増えているのが確認されました。頭部のCTとMRIで、下垂体に腫瘍があり視神経を押しているのがみつかりました。

成長期なら、成長ホルモンが過剰に分泌されると、身長が増えて頭部や手足が大きくなります。巨人症です。成長が止まった後の場合は、眉弓・鼻・頬・顎など頭部の突出部や手足の節々が目立って大きくなります。これが先端巨大症です。外見のゴツイ感じが特徴的です。高血糖や高血圧にもなるので、健康診断で発見されることもあります。下垂体機能の異常の場合、多くは腫瘍が原因です。

久しぶりに会った隼人の顔つきや手の様子を見て、先端巨大症を思い出しました。それで自撮りをみせてもらったのです。はたして、高校を卒業してから、顔や体つきが変化していったようです。変化がゆっくりなので、自分では気づきにくいかもしれませんが、たまに会ったひとを見ると、変化に気づくことがあります。

下垂体は、脳幹から垂れ下がり、蝶形骨のトルコ鞍ちようけいこつあんという窪みに収まります。ちょうどそのすぐ前に視交叉があります。

ここでもし下垂体が肥大すると、視交叉を後ろから押し上げることになります。すると視神経の交差している成分だけが障害されます。

交差している神経は網膜の鼻側びそくからきていて、そこに映っているのは視野の耳側じそくになります。それが両眼とも見えなくなるわけです。これを両耳側半盲りようじそくはんもうといいます。

両耳側半盲では、視野の耳側が狭まります。視野の中心は見えているので気づきにくいのですが、視野の端が見えないために、からだを柵やら柱やらにぶつけてしまいます。崩れた材木が見えずによけられなかったのかもしれないかもしれません。

治療は手術になります。内視鏡を使って下垂体の腫瘍を摘出します。手術がうまくいけば高血圧や高血糖は収まり、外見の変化も止まります。しかし、いちど変化した顔つきは、ほとんど回復しないです。

最近のスマホだと、気軽に写真を撮れますし、1年前、数年前など、思い出の写真を見せてくれますよね。自分や家族、友達の顔の変化にも気づきやすくなっています。スマホばかりいじつてと叱られるかもしれませんが、いいこともあります。あ、写真加工アプリではダメですよ！

❖ 診断..下垂体腫瘍による先端巨大症と両耳側半盲